



戸田中だより 『紫雲』

学校教育目標 <自主協調> 生徒が主語になる自主 全員が納得解を求める協調
令和7年3月21日 臨時号

「戸田中生らしさ」の追求～学校のきまりの見直し～

校長 山田 一文

現在、生徒・保護者や地域・学校の三者が力を合わせて学校を運営することが求められています。しかしながら、戸田中学校では、これまで様々なきまりを決定・運用してきたのは、主に学校でした。

このような状況を鑑み、本校では教職員だけではなく、生徒・保護者や地域・教職員の三者で時間をかけて学校のきまりを見直してきました。

見直しの足がかりとして、三者で「校則検討委員会」を設置し、議論を重ねました。その後、学校運営協議会でも議論し、新たな学校のきまりの活字化を目指しました。つきましては、議論で大切にしたい視点や変更点をお伝えします。

～学校のきまりを見直す上での視点・目指す姿～

- ・ 学校という場において誰もが安心・安全に生活できるということ
→戸田中生らしさを大切にしていく
- ・ 進学先や社会に出たとき、どんな場面でも誠実に対応できるということ
→ルールを守ることの大切さも忘れない

この視点をもとに様々な学校のきまりを議論しました。その結果、次年度（令和7年度）から次の5点を改訂します。

1 頭髪について

清潔で学校での活動に適した髪型を心がける。

頭髪は目にかからない長さにし、髪が肩に届いたら結ぶ。（黒色のピンか黒・紺・茶色のゴムヒモを使用する）

熱や整髪料などによる整髪、染髪はしない。また、特異な髪型にしない。

※なお、髪型について気になることがあれば学校からお声かけさせてもらうこともあります。
(令和7年度生徒手帳より)

髪型についての補足

- ・頭髪は目にかからない長さとする。

→左右の長さなどの基準は設定しないが、学校生活を送る上で誰もが気持ちよく過ごせるように配慮する。

- ・肩に髪がつく場合は結ぶ。

→結ぶ高さは、学校生活の後ろの席の人への配慮や授業で支障がないようにする。

→髪をくくる（おだんごヘア）ことは可とするが、高さや結び方・結び直す時間には配慮する。

2 靴下について

靴下の色は白・黒・紺とし、ワンポイントまで可とする。

足首の保護のため、くるぶしが覆えるものとする。

(ルーズソックス・ラインのデザインは不可)

【参考】令和6年度：靴下は原則白色無地。ワンポイントまで可。
足首の保護のため、くるぶしが覆えるものとする。
(ルーズソックス・ラインのデザインは不可)



3 セーターの着用について

冬服 プレザーとジャージの下にセーターを着用することも可能。

*セーターの型はVネックのみとします。色は黒・紺。

(ラインが入っているものは不可)

→ただし、体育の授業時や部活動中には着用はしない。

→セーターのみでの生活はしない。

【参考】令和6年度：＜冬服＞プレザーの下にセーターを着用することも可能。

4 プレザーの携帯について

冬服 プレザーを脱ぐ際には、必ず持ってくること。

*各自でプレザーを忘れることがないように注意すること。

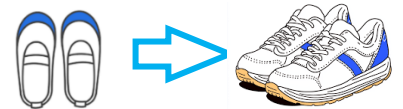
【参考】令和6年度：冬服 プレザーを脱ぐ際には、必ず携帯すること。

5 上履きについて

体育館履きがメインの上履き。(基本的に常に体育館履きで生活する)

赤学年・青学年の生徒は移行期間に入るため、現在使用している上履きを令和7年度は使用しても構いません。

【参考】令和6年度：校舎内では上履きを着用。体育館内では体育館履きを着用。



戸田中学校は、間もなく創立80年を迎える市内で最も歴史ある中学校です。そして、本校には、長年積み上げてきた「**戸田中学校・戸田中生としての誇り・プライド**」があります。きまりの見直しは、「戸田中プライド」を引き継ぐ者として、三者が受けとめ、考えていこうとするものです。特に頭髪については、お子様・御家庭のお力に委ねる点がございます。どのような姿・どのような振る舞いであれば、**お子様が戸田中生としての誇りを表現できるのか、戸田中生としてふさわしいのか**、各御家庭でお子様とともに考えていただけますと幸いです。

同時に、本校は「**戸田中生にとって、より安心し充実した学校生活を送れるようになる**」、そのような学校づくりを目指しております。学校のきまりは、社会に存在するルールと同様に、生徒全員が安心して過ごせるように決められているものです。「**ルールを守ること**」を通して、**ルールの意義や理由を学んでくれること**を願っております。

今後も学校のきまりの見直しは継続して取り組んでまいります。まずは4月から以上のきまりが変わりますが、本校の生徒は、これらを理解して、適切に行動してくれると確信しております。**むしろ、きまりが変わることで、これまで以上に「自主協調できる戸田中生らしさ」を発揮・表現してほしいです。**

これからも、ともに「**戸田中生らしさの追求**」をしてまいります。